アラバマ大学バーミングハム交換派遣留学生　沼田　彩花（文理学部英文学科３年）

２０１５年1月７日

新年あけましておめでとうございます。UAB では先日から早くも春学期がスタートし、キャンパスにも忙しく賑やかな雰囲気が戻ってきました。私もさっそく朝から３つ連続で授業があり、旅行者モードから一気に学生モードへと引き戻されました。留学生活も残すところあと半期となり、達成感と共に少し寂しさも感じます。今期は前期よりもずっと忙しくなる予定なので、気持ちを新たに引き締め直して頑張りたいと思います。

先月は final week が終わるや否や学生は一気に帰省し、キャンパスはすっかり静まり返りました。私はというと、教会のイベントに参加したり、知人のお子さんの世話をするバイト（？）をしたりしながら数日を過ごしました。教会では聖歌隊の舞台があったり、NATIVITY といって、イエス・キリストの一生をブースに分かれて人間が実際に演じ、それを見て回るという伝統行事がありました。日本にいた頃はキリスト教に関しては全くの無知だった私ですが、何も知らなくても十分楽しむことが出来ました。写真は NATIVITY の一場面です。

20 日からは友人の家に一週間ほどお世話になりました。家族でゲームをしたり、友人とクッキーを焼いたりなど、こちらに来てからはずっと寮生活だった私にとっては久しぶりに「家族」を感じた心温まる一週間でした。滞在先のご家庭はカトリック信仰だったので、週末には礼拝にも参加しました。カトリックの礼拝は初めてだったので少し戸惑うこともありましたが、荘厳な教会と美しい賛美歌にはすごく感動しました。クリスマスには、家族全員がそれぞれプレゼントを受け取り（なんと私にまで用意されていた！）、その後は伝統的な Christmas dinner を楽しみました。Corn casserole という、コーングラタンのような side dish がとても気に入ってレシピを教えてもらったので、これは日本に帰ってから自分でも作ってみようと思います。日本人にとってクリスマスは友人や恋人と時間を過ごしたり、中には通常通りの平日として過ごす人も多いですが、アメリカ人のクリスマスは Thanksgiving の

ように家族で過ごすイベントであることを知って少し驚きました。また、前々からカードを用意するあたりは、どこか日本のお正月に似ているなあとさえ思いました。

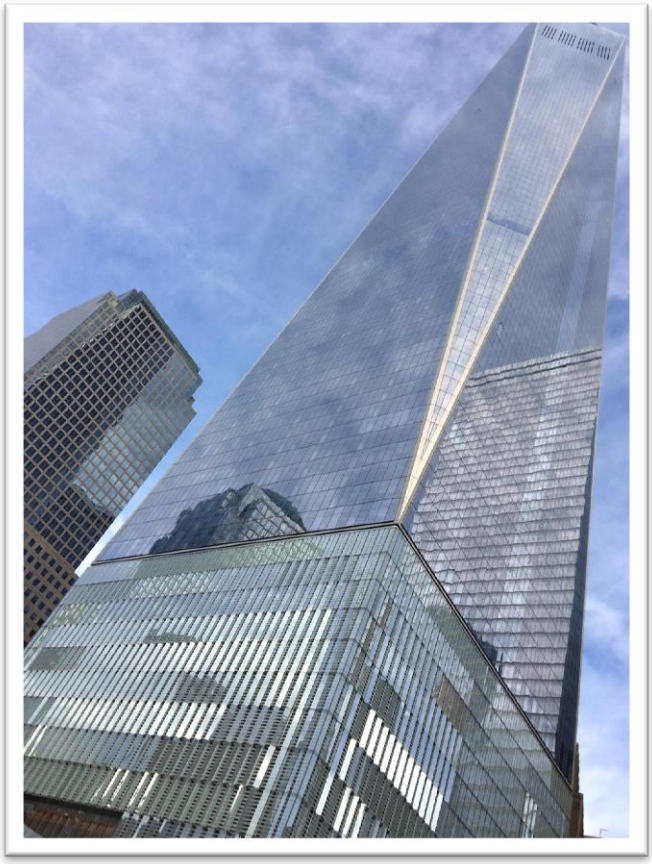
最後の週は、友人とニューヨークへ6泊7日の旅行に行ってきました。友人に会うまで、一人での飛行機の乗り換えや、ネットワークの繋がらない中知らない街を歩くことに対し最初は不安だらけでしたが、実際に到着してみると時間はあっと言う間に過ぎて行きました。年末年始ということもあり行く先々はどこも混雑しており、Moma(近代美術館)では行列が1ブロックを一周するほどでした。それでも有名な観光地はほとんど見て回ることが出来、NYCの綺麗な夜景やイルミネーションを楽しむことが出来たので大満足です。にこやかに話しかけて来た黒人のお兄さんに謎のCDを売りつけられるというハプニングもありましたが（笑）それも社会勉強として良い経験だったかなと開き直っています。暖かければ、セントラルパークでのんびりするなどまた違った楽しみ方があるんだろうなと思い、また違った季節に行ってみたいなと思いました。

中でもこの旅で一番思い出深いのは、タイムズスクエアでの年越しです。タイムズスクエアがあるマンハッタンの7番街では、前日から交通規制がなされ、当日の午後3時頃からバリケードが設置されます。カウントダウンに集まった人たちは荷物検査を受けてからバリケード内に入り、そこでひたすら12時になるのを待ちます。私たちも、当日は水分摂取もそこそこに防寒対策をしっかりして臨みました。トイレにも行けない中寒空の下で9時間待つのは体力的にも堪えましたが、ショーを楽しんだり1時間ごとのカウントダウンを周りの人たちと一緒に数えたりしているうちに、気付けば時間は過ぎていました。9時間待った後のカウントダウンは本当に感動的で、一生忘れられないものになりました。日本の元旦とはまた違った華やかな新年の迎え方が出来、2015年は幸先の良いスタートが切れたと思いました。

旅行の余韻に浸ることが出来たのも束の間、再び大忙しの日々が始まってしまいました。今期は前期に取れなかった言語学のクラスを2つ取っています。そのうちの一つは統語論の生成文法を扱い、これは私の卒業論文のテーマにも大きく関わってくるので、今期の中では一番楽しみな授業です。日本で学んだことと比較しながら、また違った視点での興味深い新発見があると良いなと思います。加えて、アメリカ文学とイギリス文学の授業も履修しています。前期の経験もふまえ膨大な読書量を覚悟していますが、それでもこちらでの文学の授業はとても楽しいので、自分自身楽しみながら頑張りたいと思います。始まって3日目にして既に、かなりの量の予習と復習に追われていますが、前期に比べると英語を読むことにも聴くことにも随分と抵抗がなくなりました。未

だに難は伴いますが、前期よりも確実に、自分の中で成長が感じられます。この４ヶ月を乗り切ったあと、自分はどれくらい英語が聞けて、話せるようになっているのかが楽しみです。

新年を迎えた時に、自分の中で新たな目標をいくつか設定しました。今年はアメリカにいるという特殊な経験を存分に生かして、毎日を充実させていきたいと思います！



＜ 写真 ＞

Brooklyn bridge からの夜景(左上)、

フェリーから見た Manhattan(右上)、

World Trade Center(左)、元旦の Times Square(右中央)

メトロポリタン美術館(右下)